

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地						
YIC情報ビジネス専門学校		平成1年8月24日		校長 河津 道正		〒 754-0021 (住所) 山口県山口市小郡黄金町2番24号 (電話) 083-976-8354						
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地						
学校法人YIC学院		平成18年9月26日		理事長 井本 浩二		〒 754-0021 (住所) 山口県山口市小郡黄金町2番24号 (電話) 083-976-8111						
分野	認定課程名		認定学科名		専門士認定年度		高度専門士認定年度		職業実践専門課程認定年度			
工業	工業専門課程		メディアデザイン科		令和 4(2022)年度		-		令和 3(2021)年度			
学科の目的		デザイン制作ソフトを使いこなし、ホームページやSNSによる情報発信を行え、Webや映像などのクリエイター職に従事できる人材を育成する。										
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)		色彩検定、PhotoShopクリエイター能力認定試験、Illustratorクリエイター能力認定試験、WEBデザイナー検定、Webクリエイター能力認定試験、ビジネス著作権検定、SNSマーケティング検定、生成AIバスポート										
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義		演習		実習	実験	実技		
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入		1,740 単位時間		330 単位時間		1,410 単位時間		単位時間	単位時間	単位時間
		単位		単位		単位		単位		単位	単位	単位
生徒総定員	生徒実員(A)		留學生数(生徒実員の内数)(B)		留學生割合(B/A)		中退率					
60人	36人		0人		0%		5%					
就職等の状況	■卒業者数(C)		0人		人		令和7年度が完成年度であるため、卒業生なし					
	■就職希望者数(D)		0人		人							
	■就職者数(E)		0人		人							
	■地元就職者数(F)		0人		人							
	■就職率(E/D)		0%		%							
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)		0%		%							
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)		0%		%							
	■進学者数		0人		人							
	■その他											
	(令和 6年度卒業者に関する令和7年5月1日時点の情報)											
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価:		無									
	※有の場合、例えば以下について任意記載											
当該学科のホームページURL	https://www.yic.ac.jp/ib/course/design/											
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A:単位時間による算定)											
	総授業時数		1,740 単位時間									
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		0 単位時間									
	うち企業等と連携した演習の授業時数		180 単位時間									
	うち必修授業時数		1,740 単位時間									
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		0 単位時間									
	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		180 単位時間									
	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		0 単位時間									
	(B:単位数による算定)											
	総単位数		単位									
うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数		単位										
うち企業等と連携した演習の単位数		単位										
うち必修単位数		単位										
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数		単位										
うち企業等と連携した必修の演習の単位数		単位										
(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)		単位										

教員の属性（専任教員について記入）

① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者	（専修学校設置基準第41条第1項第1号）	0 人
② 学士の学位を有する者等	（専修学校設置基準第41条第1項第2号）	0 人
③ 高等学校教諭等経験者	（専修学校設置基準第41条第1項第3号）	0 人
④ 修士の学位又は専門職学位	（専修学校設置基準第41条第1項第4号）	1 人
⑤ その他	（専修学校設置基準第41条第1項第5号）	0 人
計		1 人
上記①～⑤のうち、実務家教員（分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定）の数		0 人

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
・学科の専門性に関する動向や地域産業振興の方向性等について意見交換を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的とした委員会(教育課程編成委員会)を置く。
・審議事項は次の事項とする:カリキュラムの企画・運営・評価、各授業科目の内容・方法の充実及び改善、教科書・教材の選定、教員研修。
・委員会には学校関係者のほか、専攻分野に関する企業等の役員または有識者を1人以上加えることとし、企業等との連携を密にする。(以上 学校法人YIC学院 教育課程編成委員会規則 より抜粋)

(2)教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
・「学校法人YIC学院は、設置する専門学校各校の各学科に、専門性に関する動向や地域産業振興の方向性等について意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的とした委員会を置く。」(学校法人 YIC学院 教育課程編成委員会規程第2条より)
・カリキュラムは、教育課程編成委員会の意見等を参考に、学内教育課程編成委員会において編成する。教職員会議での検討を経た後、理事会の承認を受け最終決定。
・授業内容・方法の改善・工夫等については、教育課程編成委員会の意見を参考に、可及的速やかに対応する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年7月31日現在

名 前	所 属	任期	種別
本廣 敏孝	一般社団法人 山口県情報産業協会 専務理事・事務局長	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	①
佐鹿 健治	大村印刷株式会社 ODI事業部 部長代理	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	③
村田 良輔	株式会社スワークス 代表取締役	令和6年4月1日～令和8年3月31日(3年)	③
河津 道正	校長		—
小田 政江	副校長		—
日當 泰浩	事務長		—
森野 茂弘	教務課長		—
豊田 菜摘	教務課長補佐		—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

②学会や学術機関等の有識者

③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年間2回(6月～8月、2月～3月)

(開催日時(実績))

令和6年度第1回 令和6年7月5日 15:30～16:30

令和6年度第2回 令和7年3月13日 15:00～16:00

令和7年度第1回 令和7年10月 予定

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

生成AIを活用した授業をする。色彩3級ではなく2級を目指す。デザインの勉強も重要だが、ターゲットや目的を定めて、コンセプト

を元にデザインできるようにする。AIの検定取得。マーケティング能力およびプレゼンテーション能力の強化。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

- ・山口県内の、学生の住居近くの施設を選定している。
- ・学生の興味分野や就職希望分野（進路）も踏まえ、実習指導者との連携がとれる施設を選定している。
- ・指導者の監督の下、見学・実習を行い職業理解に努める。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

- ・実習、演習においては企業間と「講師派遣契約書」、科目について「覚書」を交わしている。
- ・実習・演習の方法・成績評価の方法について実習指導者・教員・学生間で共有している。
- ・実習期間中は教員が電話あるいは訪問して状況確認を行い、問題があれば対応について協議する。実習指導者が記入する成績評価表と、実習終了後に行う報告会での報告内容を踏まえ、教員が最終成績評価・単位認定を行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な3科目について記載。

科 目 名	企業連携の方法	科 目 概 要	連 携 企 業 等
PBL I	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	カードゲーム企画制作会社と連携し、カードゲームの企画を立案し、プレゼンテーションを実施する。企画内容が良ければ、会社のゲーム企画として採用され制作販売される。	タンサン株式会社
PBL II	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	中小企業の業務についてヒアリングをおこない課題や問題ごとを掘り起こし、解決するための新しいアイデア発想をする。グループワークを通じたディスカッションができるようにする。	山口県中小企業家同友会
PBL III	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	中小企業の業務についてヒアリングをおこない課題や問題ごとを掘り起こし、解決するための新しいアイデア発想をする。グループワークを通じたディスカッションができるようにする。	山口県中小企業家同友会

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

(教員の研修等の基本方針)

- ・YICグループ教職員研修規程に基づき計画的に研修を実施している。
- ・常に変化する業界動向に合わせて、技術・知識の確認をするために、企業企画・イベントの参加を推奨している。
- ・資格取得のための研修を推奨している。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	情報セキュリティ&Excel・Word(中級)研修	連携企業等:	学校法人YIC学院
期間:	令和6年12月26日(木)13:30~16:30	対象:	教員
内容	情報セキュリティに関する情報提供と簡単なグループワークを通して、日常業務の中で気を付けるポイントの周知徹底		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	シラバス・コマシラバスについて	連携企業等:	学校法人YIC学院
期間:	令和6年12月25日(水)9:30~16:30	対象:	教員
内容	目的に沿ったシラバス・コマシラバスの計画を作成することが目的の講座		

研修名:	学生の理解と支援について	連携企業等:	学校法人YIC学院
期間:	令和6年12月26日(木)9:30~12:30	対象:	教員
内容	学生の気持ちを理解し、どのように支援をしていけばいいかを学ぶ		

研修名:	専門学校教員向け 初期キャリア形成研修	連携企業等:	学校法人YIC学院
期間:	令和6年12月26日9:30~12:30	対象:	教員
内容	専門学校教員向けの初期キャリア形成を行うための研修		

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	はじめてのWordPress入門講座	連携企業等:	Udemy
期間:	令和7年5月9日(金)13:30~17:00	対象:	教員
内容	WordPressの入門として、WordPeressで作ったWebサイトを運用するときを知っておくべきことを学ぶ		
研修名:	はじめてのWebマーケティング	連携企業等:	学校法人YIC学院
期間:	令和7年6月17日(火)9:30~13:30	対象:	教員
内容	Webマーケティングの全体像を知って、はじめの1歩を踏み出すための講座		
②指導力の修得・向上のための研修等			
研修名:	最新ハラスメント防止研修～言動に対する理解と職場づくり～	連携企業等:	学校法人YIC学院
期間:	令和7年8月19日(火)9:30~12:30	対象:	教員
内容	コンプライアンス遵守に留らず、チームと組織全体の生産性向上の効果を期待		
研修名:	学生 OC スタッフ育成研修	連携企業等:	学校法人YIC学院
期間:	令和7年8月19日(火)13:30~15:30	対象:	教員
内容	OCの重要性を再認識するとともに、学生 OC スタッフの活躍が参加者の満足度を大きく左右することの共有		
研修名:	0	連携企業等:	0
期間:	0	対象:	0
内容	0		

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

・学校関係者評価委員会において、本校が行う自己点検評価の結果と根拠を示し、とくに当該年度の重点項目を中心に意見をまとめ報告書を作成していた。また、学校関係者評価委員会からの報告書に基づいて本校の自己点検評価を見直し、次年度の改善計画における重点項目を決定する。これらについて年報・ホームページ等で公表する。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	1 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標
(2) 学校運営	7 管理運営
(3) 教育活動	2 教育の内容
(4) 学修成果	4 教育目標の達成度と教育効果
(5) 学生支援	5 学生支援
(6) 教育環境	3 教育の実施体制
(7) 学生の受入れ募集	5 学生支援
(8) 財務	8 財務
(9) 法令等の遵守	7 管理運営
(10) 社会貢献・地域貢献	6 社会的活動
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

・本校で実施した自己点検評価・改善計画を学校関係者評価委員会に提出し、意見・協議結果をもとに学校機能評価報告をまとめ、年報・ホームページで公開する。改善計画にもとづき学校運営や教育の改善を計画的に行う。またシラバスがテキストの目次に基づくものが多く、具体性がない。今後、シラバス・コマシラバスの整備をインストラクショナル・デザインを取り入れて改善していくことに決定した。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
福本 百合江	情報工学科 在校生 保護者	令和6(2024)年4月1日～令和8(2026)年3月31日(2年)	保護者代表
高村 奈生人	ビジネス系学科 卒業生 株式会社三知 山口支店	令和7(2025)年4月1日～令和9(2027)年3月31日(2年)	卒業生
阪上 誠	株式会社テクノプロ テクノプロ・デザイン社 新卒採用部 部長	令和7(2025)年4月1日～令和9(2027)年3月31日(2年)	企業関係者 (情報工学科)
阿部 誉久	山口商工会議所 広域ビジネスサポートセンター長	令和7(2025)年4月1日～令和9(2027)年3月31日(2年)	職能団体 (情報ビジネス科)
臼渕 厚史	株式会社 山口グランドホテル 代表取締役社長	令和7(2025)年4月1日～令和9(2027)年3月31日(2年)	企業関係者 (ホテルブライダル科)
兼重 顕治	医療法人 協愛会 阿知須共立病院 事務部経営企画室人材開発グループリーダー	令和7(2025)年4月1日～令和9(2027)年3月31日(2年)	企業関係者 (医療事務学科)
中野 園子	山口県獣医師会の会員獣医師 なかの動物病院 副院長	令和7(2025)年4月1日～令和9(2027)年3月31日(2年)	企業関係者 (ペット総合学科)

井ノ上 隆志	学校法人 鴻城義塾 山口県鴻城高等学校 進路指導部	令和6(2024)年4月1日～令和8(2026)年3月31日(2年)	高校関係者
※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等			
(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期 (ホームページ) URL: https://www.yic.ac.jp/ib/disclosure/ 公表時期: 令和7年7月31日			

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

・「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の趣旨に則り、原則として、ガイドラインが推奨する内容(提供する情報の項目例)全てについて、ホームページ上にて情報提供する。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画
(2)各学科等の教育	各学科(コース)等の教育
(3)教職員	教職員
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育・実践的職業教育
(5)様々な教育活動・教育環境	様々な教育活動・教育環境
(6)学生の生活支援	学生生活支援
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金・修学支援
(8)学校の財務	学校の財務
(9)学校評価	学校の評価
(10)国際連携の状況	国際連携の状況
(11)その他	その他

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)

URL: <https://www.yic.ac.jp/ib/disclosure/>

公表時期: 令和7年7月31日

授業科目等の概要

工業専門課程メディアデザイン科																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
1	○			ビジネスマ ナーⅠ	社会人として求められる基本的なビジネス マナーを実践できる。	1 前	30	1	○			○			○	
2	○			ビ ジ ネ ス マ ナーⅡ	社会人として模範的なビジネスマナーが実 践できる。	1 後	30	1	○			○			○	
3	○			情 報 リ テ ラ シー	情報モラル、情報倫理、情報セキュリ ティ、情報検索、情報分析、情報発信な ど、情報リテラシーの基盤となる知識を学 び、インターネットやSNSなどの情報ツ ールを効果的に活用するための実践的なス キルを習得する。	1 前	30	1	○			○		○		
4	○			W e b 基 礎	HTMLタグ、CSSの基礎を学習する。 VisualStudioCodeを使い効率よくコー ディングを行う。ペライチの簡単なホーム ページを作成できるようにする。レスポン シブのメディアクエリーの指定が適切に行 える。	1 前	90	3		○		○		○		
5	○			W e b デ ザ イ ンⅠ	VisualStudioCodeを使い効率よくコー ディングを行う。 XDを使用してデザインカンプを作成し、そ れに伴ってコーディングしてサイトを作成 できるようにする。	1 後	90	3		○		○		○		
6	○			I l l u s t r a t o r 基 礎	Illustratorの基本機能について操作がで きるように基本的な事項について説明す る。 Illustratorクリエイター能力認定試験の スタンダードに合格を目指す。	1 前	90	3		○		○		○		
7	○			P h o t o S h o p 基 礎	Web制作上欠かせない写真データ加工の基 礎（画像の移動、複製、消去、文字入力、） から色調補正、画像修正、切り抜き合成 までを習得し、視覚効果にすぐれた魅力 的なイメージ画像の制作までをPhotosh opを使って、演習を中心に行う。	1 後	90	3		○		○		○		
8	○			色彩概論Ⅰ	色の基本的な特性等を理解し、配色を効 果的にすることで、心理的、生理的影響 の知識を身につけ配色調和のバランスを とることができる。	1 前	30	1	○			○			○	
9	○			色彩概論Ⅱ	色の基本的な特性等を理解し、配色を効 果的にすることで、心理的、生理的影響 の知識を身につけ配色調和のバランスを とることができる。	1 後	30	1	○			○			○	
10	○			動画制作基礎	動画制作の基本的な知識と技術を学び、 短尺の動画作品を制作します。動画の企 画、撮影、編集、音響など、動画制作に 必要な一連の流れを学び、実際に制作 を通してスキルを磨きます。	1 前	90	3		○		○			○	

11	○			モーショングラフィックス	モーショングラフィックスの基本的な知識と技術を学び、短尺のアニメーション作品を制作します。モーショングラフィックスの原理、ソフトウェアの使い方、アニメーション表現技法などを学び、実際に制作を通してスキルを磨きます。	1 後	60	2		○		○			○	
12	○			デザイン論	デザインの本質と歴史、そして様々なデザイン理論について学びます。具体的なデザイン技法やソフトウェアの使い方を学ぶのではなく、デザインを多角的に理解し、論理的に思考する力を養うことを目的としています。	1 後	90	3	○			○			○	
13	○			著作権	クリエイター自身が知っておくべき著作権の基礎知識から、トラブル発生時の対処法までを体系的に学び、権利を守りながら創作活動を進めるためのスキルを習得します。	1 前	30	1	○			○		○		
14	○			プレゼンテーション	新たなアイデアを生み出すことのみならず、それを他者に正しく・分かりやすく伝え、説得する・共感を得る能力が求められるようになっている社会状況を鑑み、PBL等も含めた今後の様々な場面で活用できるプレゼンテーションスキルの向上をはかる。	1 前	30	1		○		○			○	
15	○			発想技法	ソーシャルスキルを「社会生活に必要な、対人関係を円滑に築き維持するための技術（コツ）」と捉え、それを身に付ける演習を通じて、ヒューマンスキルの向上をはかる。／新たなアイデアを生み出すことの必要性を理解し、単なるひらめきで終わらずに「発想したものを実社会に落とし込む」ところまでをスキルとして体得する。	1 前	30	1	○			○			○	
16	○			P B L I	生徒が自ら問題を見つけ、さらにその問題を自ら解決する能力を身に付ける学習を通じて、ヒューマンスキルの向上をはかる。	1 後	60	2	○			○	○		○	○
17	○			ビ ジ ネ ス マ ナーⅢ	就職活動に伴うリクルースタイル、面接時の受答えを実践できる。	2 前	30	1	○			○			○	
18	○			パソコン演習	一般業務で使用される office ソフト（Excel、Word）の基本操作を学習する。	2 後	30	1		○		○		○		
19	○			W e b デザイ ンⅡ	CMSとしてWordPressを使ったWebサイトの構築を行う。	2 前	90	3		○		○		○		
20	○			W e b デザイ ンⅢ	JavaScriptやPHPなどを使用して高度なWebサイトを制作することができる。	2 後	90	3		○		○		○		
21	○			デザイン演習 Ⅰ	IllustratorやPhotoshopを使用して、Tシャツデザインコンテストなどのコンペに応募するための作品を制作していく。	2 前	90	3		○		○			○	
22	○			デザイン演習 Ⅱ	IllustratorやPhotoshopを使用して、Tシャツデザインコンテストなどのコンペに応募するための作品を制作していく。	2 後	90	3		○		○			○	

23	○		動画企画演習Ⅰ	PremiereProやAfterEffectなどの動画編集ソフトの基本操作を学習し、使用できるようにしていく。	2前	90	3		○		○			○	
24	○		動画企画演習Ⅱ	PremiereProやAfterEffectなどの動画編集ソフトを使用して、アニメーション制作や動画制作を行う。	2後	90	3		○		○			○	
25		○	Webマーケティング基礎	Webマーケティングの基礎知識を学び、実際にWebサイトの企画・制作、SEO対策、SNS運用などを学びます。	2前	60	2		○		○		○		
26		○	Webマーケティング演習	Webマーケティング基礎で学んだ内容をもとに、目標を設定し、戦略を立案、実行、評価する能力を養います。実務で役立つスキルを習得し、Webマーケティングの全体像を把握します。	2後	60	2		○		○		○		
27		○	PBLⅡ	生徒が自ら問題を見つけ、さらにその問題を自ら解決する能力を身に付ける学習を通じて、ヒューマンスキルの向上をはかる。	2前	60	2		○		○	○		○	○
28		○	PBLⅢ	生徒が自ら問題を見つけ、さらにその問題を自ら解決する能力を身に付ける学習を通じて、ヒューマンスキルの向上をはかる。	2後	60	2		○		○	○		○	○
合計					28	科目			1740	単位時間					

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
学則より 卒業要件： 評価がすべて可以上であり、卒業必要単位数を修得している。 a. 各学科の定める教科科目のうち、必修科目、選択必修科目の成績 b. 全ての学費、教材費等が納められていること。 必修科目1740時間		1 学年の学期区分	2 期
履修方法： 履修方法は講義、演習		1 学期の授業期間	15 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。